

# 1

## 新聖歌316番「みことばなる」

1. 御言葉なる 光のうち 主とともに歩まば  
行く道すじ 照らしたまわん より頼むわれらに  
げに主は より頼みて 従ごう者を 恵みたまわん
2. 御顔の笑み 輝く時 雲きりは消えゆき  
疑いなく 憂いもなし より頼むわれらに  
げに主は より頼みて 従ごう者を 恵み給わん
4. いかにかよき 交わりぞや 妨ぐるものなし  
昼も夜も 臨在あり より頼むわれらに  
げに主は より頼みて 従ごう者を 恵み給わん

## 静まって

静まって あなたこそ神であることを知る  
静まって あなたこそ神であることを知る

神は 我らの避けどころ また力である  
悩めるときのと近き 助けである

いま主を信頼する 山は動き 海に移ろうと  
あなたの御手の中で 生き続ける 命ある限り

いま主を礼拝する あなただけに栄光を返し  
あなたの愛にこたえ 生き続ける 全てを捧げて

## 【川がある】(詩篇46:4)

G D7 Am D7 G  
川がある その流れは いと高さ方の住まい

G G7 C Cm G D7 G  
神の都を喜ばせる その流れは賛美の川

# 5 祈りのガイドライン

1. 賛美と感謝の祈り
2. 悔い改めと主を慕い求める祈り
3. 個人的な願いの祈り
4. とりなしの祈り
5. 日本と世界の平和を願って...

- ・大和カルバリーチャペルと大川牧師ご夫妻のため
- ・瀬戸カルバリーチャペルと倉知牧師家族のため
- ・教会が成長しますように!

- ①信徒の皆様が恵まれた信仰生活を送り、キリストの似姿に変えられる成熟と祝福に与りますように
- ②新しい方が来られますように、未信者の方がイエス様を信じ、救われ、洗礼に導かれますように
- ③地域の方々に良い証がたてられ、神の国が広がられますように。
- ④瀬戸市・愛知県・日本全国・世界宣教のために用いられる教会となりますように。

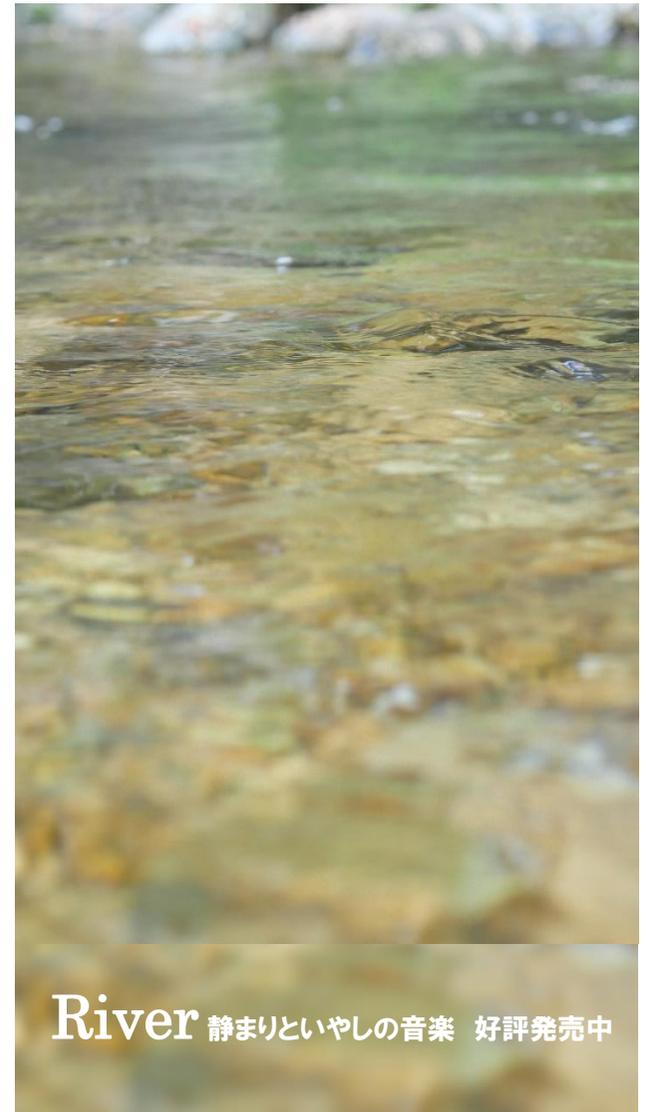
私の首のように、  
茎が簡単に折れてしまった  
しかし菜の花は  
そこから芽を出し  
花を咲かせた。  
私も、  
この花と同じ水を飲んで  
同じ光を受けている。  
強い茎になろう。

星野富弘



瀬戸カルバリーチャペル Seto LIFE ART Studio

489-0909 愛知県瀬戸市みずの坂 5-64 0561-48-8899  
牧師：倉知契 kei.kurachi@gmail.com



River 静まりといやしの音楽 好評発売中

祈りの小径(こみち)  
Number:067 瀬戸カルバリーチャペル

「祈りの小径(こみち)」の名称は、愛知県瀬戸市・せともの街の名所「窯垣の小径」と、詩人・八木重吉の作品にある「祈りの路」から名付けられました。各ページにある数字の順に、賛美→聖書→黙想→解説→祈りを致します。

## 2 今日の聖書のことば

ゆっくり読んで黙想しましょう。

創世記2章6～14節

6 しかし地から泉がわきあがって土の全面を潤していた。7 主なる神は土のちりて人を造り、命の息をその鼻に吹きいれられた。そこで人は生きた者となった。8 主なる神は東のかた、エデンに一つの園を設けて、その造った人をそこに置かれた。9 また主なる神は、見て美しく、食べるに良いすべての木を土からはえさせ、更に園の中央に命の木と、善悪を知る木とをはえさせられた。10 また一つの川がエデンから流れ出て園を潤し、そこから分れて四つの川となった。11 その第一の名はピソンといい、金のあるハビラの全地をめぐるもので、12 その地の金は良く、またそこはブドラクと、しまめのうとを産した。13 第二の川の名はギホンといい、クシの全地をめぐるもの。14 第三の川の名はヒデケルといい、アッスリヤの東を流れるもの。第四の川はユフラテである。

詩篇46篇4～5節

4 一つの川がある。その流れは神の都を喜ばせ、いと高き者の聖なるすまいを喜ばせる。

5 神がその中におられるので、都はゆるがない。

ヨハネの黙示録22章1～5節

1 御使はまた、水晶のように輝いているいのちの水の川をわたしに見せてくれた。この川は、神と小羊との御座から出て、2 都の大通りの中央を流れている。川の両側にはいのちの木があって、十二種の実を結び、その実は毎月みのり、その木の葉は諸国民をいやす。3 のろわるべきものは、もはや何ひとつない。神と小羊との御座は都の中にあり、その僕たちは彼を礼拝し、4 御顔を仰ぎ見るのである。彼らの額には、御名がしるされている。5 夜は、もはやない。あかりも太陽の光も、いらない。主なる神が彼らを照し、そして、彼らは世々限りなく支配する。

## 3 黙想(Life Art Meditation)の時間

(感じたこと・恵まれたことをノートします)

## 4 みことばの解説



あなたの栄光を示してください！  
Show us Your Glory! 出エジプト33の18

今回制作した「River～静まりといやしの音楽」CDの礎となったみ言葉は詩篇46篇です。10節には『静まって、わたしこそ神であることを知れ。』とあります。そしてその数節前に、「一つの川がある。その流れは神の都を喜ばせ、いと高き聖なるすまいを喜ばせる」と明言されています。神様は、川(River)とその流れ(streams)を愛しておられます。それは神様(とその都)を喜ばせるのです。なぜでしょうか？

実は聖書は、創世記のはじめから、黙示録の最後まで「川」について言及されています。もちろん「川」を渡って約束の地に入り、イエス様ご自身も「川」でバプテスマを受けて公生涯を始められました。またイエス様は『信じる者はその腹から、いのちの水が川(複数形)となって流れる』と語っています(ヨハネ7の37～39)。私たち自身が神の住まわれる聖所となることと、聖霊様のいのちの川は私たちを満たし、私たちから溢れ流れるという約束です。

川について知っておくべきことがあります

- ① 神様は川(River)を愛し、喜んでおられること
- ② 川にはかならず源(源流)があること
- ③ 川は低い所に流れてゆくこと
- ④ 川は増え広がってゆくこと
- ⑤ 川はその周りに潤いと繁栄をもたらすこと

私たちは、神様の御座から流れる川があることを覚えます。神様のご臨在を思い出させるのが川の流れです。そして、身を低くし謙遜に「低くなる」ときに、その川が私たちに流れてくること。その川のほりいるだけで豊かな実を結ぶこと。その川はいやしの川であること…(イザヤ47)

流れのそばに身を置いて、神様のいのちに溢れた毎日を送ることができるように。その流れが多くの人に届けられるように、今日も祈ってゆきましょう！